



信頼される行政運営

● 現状と課題 ●

信頼される行政運営を行うには、効率的な財政運営や危機管理体制のほか、行政運営の質の向上に取り組む必要があります。

効率的な財政運営を行う上で、行政事務の効率化は欠かせません。それには、必要な事業の精査や、計画の進行管理などを実施していくことが重要です。また、民間委託が可能な業務の委託やマイナンバーの活用を含む電子自治体化も併せて検討しなければなりません。マイナンバーの活用については、住民の不安解消のため、常に最新のセキュリティ対策を研究、検討し、情報漏えい防止策を講じていく必要があります。

行政の広域連携も行政事務の効率化につながる場合があるため、住民の利便性など、広域化によるメリット、デメリットを考慮した検討が必要です。広域連携は、それにとどまらず、協力体制の構築という目的において、例えば、災害時の広域連携体制は、迅速な復旧につながるため、様々な視点で検討をしていく必要があります。

行政運営の質を向上させるには、そこで働く職員の育成とその組織機構の適正化が必要です。

職員の育成については、職員一人ひとりの意識向上と技能習得を図る必要があることから、これまで職員研修や人事交流を進めてきました。あわせて、人事評価制度の導入により職員間での意識改革や組織内の連携を図りながら人材育成に取り組んでいます。今後については、職員の向上心を高め、適切な働く環境を整備するため、より一層、組織一体となった労働安全衛生活動に取り組んでいくことが求められます。

● 目指す方向 ●

① 行政運営の質の向上を図ります

② 組織機構の適正化と職員の育成を図ります

③ 窓口サービスの充実を図ります

④ 広域連携を推進します

組織機構の適正化については、更に複雑化する住民ニーズに的確かつ迅速に対応するため、職員の資質向上を図った上で、適材適所の職員配置を行い、行政課題に適正かつ柔軟に対応できる行政組織を構築する必要があります。組織機構の適正化は、職員が働きやすい環境を整え、やりがいを持って仕事に臨めることにつながり、その結果、質の高い窓口サービスにもつながります。窓口において、来庁者やニーズは多様であることから、行政としてできることを判断し、縦割りではなく全体のこととしてとらえ、的確に対応することにより住民の信頼を得ていく必要があります。

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・町の行政運営について関心を持ち、チェックする ・議会審議に関心を持つ ・個人や地域でできることは個人、地域で行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の重点配分や事務事業の整理、組織体制の整備、適正な人員配置を行う ・職員の課題解決力、改革立案力を向上させる ・公平な課税と徴税を行い、収納率の向上を図る ・広域での連携を図り、業務や財政面での効率化を図る ・個人や地域でできないことを担い、個人や地域で活動できるように条件整備に努める